



訪問看護だより



Vol. 9 (2022年 春号)

暖かい日差しがうれしい季節になりました。
新年度、新たに4名のスタッフが配属されました。
新しいスタッフと共に、利用者様・ご家族の思いに寄り添い、
安心して生活していただけるよう頑張っていきたいと思っています。
よろしくをお願いします。



大津 陽子

病院では
皮膚・排泄ケア認定看護師として
床ずれや人工肛門・人工膀胱の患者さんの
ケアに携わってまいりました。
この経験を利用者様に役立てるよう、
頑張っています。



原田 亜希子



病棟経験を活かし、
利用者様に
安全・安楽・信頼できる
看護ができるように
頑張りたいと
思います。



憧れの訪問看護に
やっと異動してこることが
できました。
皆様に一日も早く
覚えていただき、
安心していただけるよう
精進してまいります。



牧田 美恵



今まで
透析、産婦人科、緩和ケア等で
勤務してきましたが、
訪問看護は1年生です。
早く覚えて一人前に仕事ができるように
頑張りたいと思っています。



前川 祐子



100歳、バンザイ\(^o^)/



去年12月に100歳を迎えたAさん（女性）。

長生きの秘訣を聞くと、『くよくよしないことかなあ、私あほやから』とご謙遜。

息子さんは、食事や排便状況を記録し、Aさんのことを本当によく見ておられるなあと感じます。そんな息子さんのことをAさんは『宝物をもらったと思っています』と話されています。

《Aさんの週間予定》

月	訪問リハビリ
火	訪問看護
水	訪問リハビリ
木	訪問看護
金	訪問リハビリ
土	訪問入浴
日	



♥♥♥♥ 母への思い ♥♥♥♥

食事と左記の訪問に来ていただいている時以外は、眠っていることがほとんどです。
 食事は、以前に比べ食べる品数および量が減少。市販の介護食の味付けを「辛い」と言うなど、味覚が変わってきて、下記のような食事になっています。また、記憶について、今話したことでも何回も聞きなおすので、日々、年老いてきたことを実感し、在宅で心穏やかに余生を送れるよう気を配っていきたいと思っています。

《100歳のお食事》

3食で必要な量を摂るのは難しいので、4回に分けておられます。

8時半頃



エンシュアH 1缶
北海道蒸しチーズケーキ 1/2個
(牛乳に浸したもの)

12時頃と20時頃



エンシュアH 1/2缶
飽きないように12時と20時の味を変える

17時頃



牛乳・ヨーグルト・
ジュースの内の1品

♥♥♥♥ 介護で思うこと ♥♥♥♥



私が病気になり、入院でもしたらと思うと、病気なんてとんでもない！
 母は特に耳が遠くて、耳元で何回も同じことを言うよりも、ホワイトボードに書き込んだ方が理解が早く、母もそれを望んでいます。
 背中が痒くなることが多く、軍手でさすると「気持ちがいい」と喜んでくれます。
 夜中眠れないときに、懐かしい歌を口ずさんだりしているときが一番楽しそうで、今の状態が少しでも長く続けばと願っています。
 ケアマネジャーの計画により、看護師さん、理学療法士さん等にお世話になっています。ある時看護師さんが、利尿剤のことで主治医の先生と対等に話をされていたことに感心し、サービスを利用して良かったとつくづく思っています。

♥♥♥♥ 困っていること ♥♥♥♥



寝ている間に出かけて目が覚めたときに私がいないと、帰ったときに怒るので、起こしてでも「これから〇〇に出かける」と言って、母の了解を得て出かけます。
 「しんどいので家にいてほしい」と言うこともあり、家を空けづらくなっています。
 一番困っているのは、年5回行っていた墓参りに行けなくなったことです。